

経済制度の設計と社会的選択

鈴木興太郎

早稲田大学政治経済学術院

日本学士院

一橋大学経済研究所コンファレンス

2012年12月14日 如水会館にて

制度を変数と考える経済学：問題の設定

資源配分機構を実装する経済制度

競争的市場機構を実装する市場経済制度

物動計画機構を実装する中央計画制度

権力と権威の配分機構を実装する政治制度

単純多数決制度に根差す民主的な投票制度

特権の専有者が支配する集権的な政治制度

経済的に自由主義的、政治的に民主主義的な 制度の組み合わせ：2つの主要問題

問題 A

異質的な経済体制の制度間競争の手段という観点からみて、この組み合わせが持つ特徴はなにか。

問題 B

市場の失敗や投票の逆説など、この組み合わせに内在する弱点に対処する方法はなにか。

厚生経済学と社会的選択の理論

制度を変数と考える経済学：生成の背景

(1) 1917年のロシア革命：社会主義的な経済計画制度 = 競争的市場制度の代替的選択肢。

(2) 1929年にニューヨークで発生した株価大暴落と世界的な大不況：競争的市場制度の効率的機能への信頼の揺らぎ。

制度は不変な〈与件〉ではなく、新たな設計と選択の対象となる〈変数〉であるという認識の登場。

制度を変数と考える経済学：経済計画論争

Hayek, Lange の経済計画論争：合理的経済計画の不可能性命題

生産手段の社会的所有に基づく計画経済機構では、合理的な経済計算は論理的に不可能（Hayek の命題）。制度を変数と考える経済学の関心と論理を簡潔に素描。

序数主義革命（Lionel Robbins and John Hicks）：

ロビンズ：ピグーの【旧】厚生経済学批判

ヒックス：価値理論の基本方程式と【新】厚生経済学の建設

社会的選択の理論の両翼：アローの定理

K. J. Arrow, *Social Choice and Individual Values*, Wiley, 1951.

A. K. Sen, *Collective Choice and Social Welfare*, Holden-Day, 1970.

General Possibility Theorem (Kenneth Arrow)

社会構成員が代替的な社会的選択肢に対して表明する個人的な選好順序を民主的・情報節約的に集計して、社会的選好順序を形成する手続きの設計可能性を否定する命題。

$6^{36} > 10^{27} > 6.022045 \times 10^{23}$: アボガドロ数

社会的選択の理論の両翼：実装可能性定理

K. Arrow and L. Hurwicz, *Studies in Resource Allocation Processes*, Cambridge University Press, 1977.

E. Maskin, “Nash Equilibrium and Welfare Optimality,” *Review of Economic Studies*, Vol. 66, 1999, pp. 23-38.

社会的選択の実装可能性理論の課題：経済社会を構成する人々の選好のように私的な情報が分散的に所有され、集中管理が可能な形で誰も把握していない状況で、社会全体の目標を達成する手続き的ルールを設計して、分権的に実装すること。

社会的選択の実装理論 (Implementation Theory)

$N = \{1, 2, \dots, n\}$ ($2 \leq n < +\infty$) : 社会構成員の集合。

A : 社会的選択肢の機会集合。

C : 社会状態の普遍集合 X 上の個人的選好プロファイル $\mathbf{R} = (R_1, R_2, \dots, R_n)$ に A の非空部分集合 $C(A)$ を対応。

$R = f(\mathbf{R})$: f はアローの社会構成関数。

M_i : 個人 i が政府に送信するメッセージの集合。

$\mathbf{M} = M_1 \times M_2 \times \dots \times M_n$ (メッセージ集合の直積)。

g : \mathbf{M} の各点に実現可能な社会的選択肢を対応させる帰結関数。

(\mathbf{M}, g) : ゲーム形式 (game form)。

$((M, g), R)$: ゲーム形式 (M, g) が設計されて、プロフィール R が実現された状況を表現するゲーム。

E : ゲームの社会的な帰結を予測する均衡概念。

$E((M, g), R)$: ゲーム $((M, g), R)$ の E 均衡の集合。

ゲーム形式が社会的選択対応 C を実装する \Leftrightarrow

$$\forall R : C(R) = O_E((M, g), R) = g(E((M, g), R)).$$

社会的選択の実装理論の課題

(IM₁) 社会的選択対応 C の実装可能性を特徴付ける条件を発見すること；

(IM₂) 実装可能な社会的選択対応 C に対応して、 C を実装するゲーム形式 (M, g) を具体的に構成すること。

制度の設計と実装：最近の展開

経済制度のグランド・デザイン：経済計画理論の遺産

最近の制度設計と実装の研究

周波数のオークション、研修医のマッチング、公立学校における学校選択制度など、部分制度の設計と実装。

厚生経済学の創始者ピグーの創業の理念

厚生経済学は、制度の機能に理解の〈光〉をあてると同時に、人間生活の改善の道具を鍛える〈果実〉の期待も担う。

設計主義的合理主義 versus 進化論的合理主義

言葉の上でのみ勇敢な制度設計は歴史の冷酷な審判には堪え難く、理性的評価の挽き臼で精製されていない自生的秩序は、新たな経験に対して無力である。

我々が目指すべき制度設計は、自生的秩序の歴史を背負う制度的構造を、理性的設計と社会的選択に基づいて改善する**漸進的な改革**でしかあり得ない。

制度の設計と実装：我が国が直面する課題

近代日本の制度改革と経済発展

明治維新直後の近代日本の制度設計と移植の経験

第二次大戦後の戦後経済改革の経験

二度に渡る制度の移植と定着の際には、挫折した旧制度を代替する選択肢は、欧米の経済社会にモデルが存在。

現代日本が直面する制度改革の課題

欧米モデルの模倣と移植ではなく、選択肢の創造的な設計と実装が不可欠。

最近の制度移植の事例

電気通信事業における誘因規制の移植

1990年代に導入された長距離電話事業における誘因規制方式。従来の公益事業における公正報酬率規制から英米モデルへの移行。欧米における成功例の移植。規制機関と非規制事業者の間の費用情報に関する非対称性。

カルテル、談合規制における課徴金減免措置の導入

2006年の独禁法改正に際して導入された措置。カルテルや入札談合に参加した企業に、違法行為に関する情報を公取委に提供する誘因を付与する機能。

参照文献

Kotaro Suzumura, *Rational Choice, Collective Decisions and Social Welfare*, Cambridge University Press, 1983. Reprinted in paperback, 2009.

Kenneth Arrow, Amartya Sen and Kotaro Suzumura, eds., *Handbook of Social Choice and Welfare*, Amsterdam: North-Holland/Elsevier, Vol. I, 2002; Vol. II, 2011.

鈴木興太郎『厚生経済学の基礎：合理的選択と社会的評価』
岩波書店、2009年。

鈴木興太郎『社会的選択の理論・序説』東洋経済新報社、2012年。